

5月21日(金) 晴れ
ウランバートルへ戻る

06:00 起床。外は肌寒く、露が降りていた。夜中、中山会長がストープの薪を何度か追加されて感謝、感謝です。シャワーどころか顔も洗えず、水の有り難さを実感。

07:00 朝食。朝早くから朝食の用意をしていたいただいた方々に感謝。

08:00 ウランバートル市内の渋滞を少しでも回避するためと早めに、キヤンプ地(ソゴート)出発。

09:30 ウランバートルに入るとすでに渋滞。割り込みは日常茶飯事。平気で道路を横切る市民。車と人の多さに圧倒された。

10:30 なんとか渋滞を抜け、ガンダン寺に到着。ガイドさんから、モンゴル人なら、一生に一度はここへお参りに来ると聞いた。人寄りがする所だからスリ集団もいると聞いて、バッグを気にしながらのお参りとなった。

11:00 モンゴル歴史博物館見学。

12:00 カシミア工場に到着。お土産を夫々購入。

13:00 ウランバートル市内のホテル内レストランにて昼食。メインディッシュが羊のハンバーグで、匂いが強く閉口した。

14:00 フラワーホテルに再度チェックイン。

15:00 森林再生グループ「ZOOモンゴル」を訪問し、森林再生活動に努力しているという副所長B. ナサンブリグ氏(通称ナスカ)と意見交換を行った。

15:30 大型ショッピングモールでお土産や食料品を購入。

18:00 モンゴルの伝統歌舞鑑賞。これが民俗音楽の原点かと、ただ驚くばかり。

19:30 ホテル内レストランにて夕食。

21:00 明日の帰国に備え早めに就寝。

5月22日(土) 晴れ 帰国

03:30 起床。帰国の日。考えてみるとアツと言う間の一週間で、殆どが車での移動時間だったような気がする。

04:10 フラワーホテルを出発し、空港へ向かう。早朝にも関わらず、ナランさん・トラガさんが空港まで見送りに来てくれた。

04:50 空港に到着。ナランさんトラガさんともお別れ。空港入口は混雑。人々は搭乗手続きと荷物の積み込み準備に追われてた。

06:10 飛行機に搭乗したが、皆、席がバラバラだった。

06:55 いやいよモンゴルを離れ、いざ日本へ。しばらくして窓から下を望めば、一面、茶褐色で広大なモンゴルの土地が見渡せた。

12:20 成田空港に近づき、日本の土地が見えた。さすがに緑が豊富で、ほっとした。

13:30 (日本時間) 無事に成田空港に到着。改めて1週間という長いようで短い滞在期間ではあったが、日本以外の国の現状を知ることが出来、今後日本だけでなく、地球を守る意味でも、私たちに出来ることを実践していきたいと思っている。

峯村 英次 記

GNC Mongoliaは、モンゴルの仲間により、2007年3月に設立されたNGO団体です。

お陰様でGNC Mongoliaの法人登録が2007年3月2日無事終了しました。ずっと応援して下さいましたGNC Japanの皆様にご心より感謝申し上げます。

GNC Mongoliaはこれからも、ずっとGNC Japanの皆様と共に「緑」で「安心」して暮らせる社会作りを努めたいと思っておりますので今後ともなにとぞどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

GNC Mongolia代表
バトバヤナサンブリグ
(通称:ナスカ)



GNC(Global Network for Coexistence)
Mongolia H d a n

イベント関連だより

「第8回アースデイ in 佐久」へ参加

今年も佐久平駅前ミレニアムパークで4月24日(土)開催の「アースデイ in 佐久」に参加。砂漠化が急速に進むモンゴル事情をアピールし、遊牧民の伝統的文化紹介と民芸品、岩塩、カシミア・フェルト製品等展示即売した。晴天に恵まれ、大勢モンゴル店に集まり盛況だった。



アースデイ in 佐久

「こもろ地球人まつり」に出展

例年、小諸市主催で実施されるイベントが5月30日(日) 小諸市立千曲小学校で開催された。アジア、中南米諸国のほか国際交流団体が多数参加して行なわれた。

モンゴルコーナーに民芸品・民族衣装、馬頭琴、写真パネル等展示した。例年、親子連れの来場者が多く、特に小学生には馬頭琴の人気が高い。

お知らせ

事務所を左記に移転しました。

事務所 〒380-0838

長野市県町532-3 労働会館内

TEL・FAX

0266-235-6717

http://w2.avis.ne.jp/~mongol

連絡は携帯090-1828-5056 (西澤 寛)へお願いします